

2020年2月期 第3四半期

決算説明資料

2020年1月14日

古野電気株式会社

注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

◆ 売上：増収

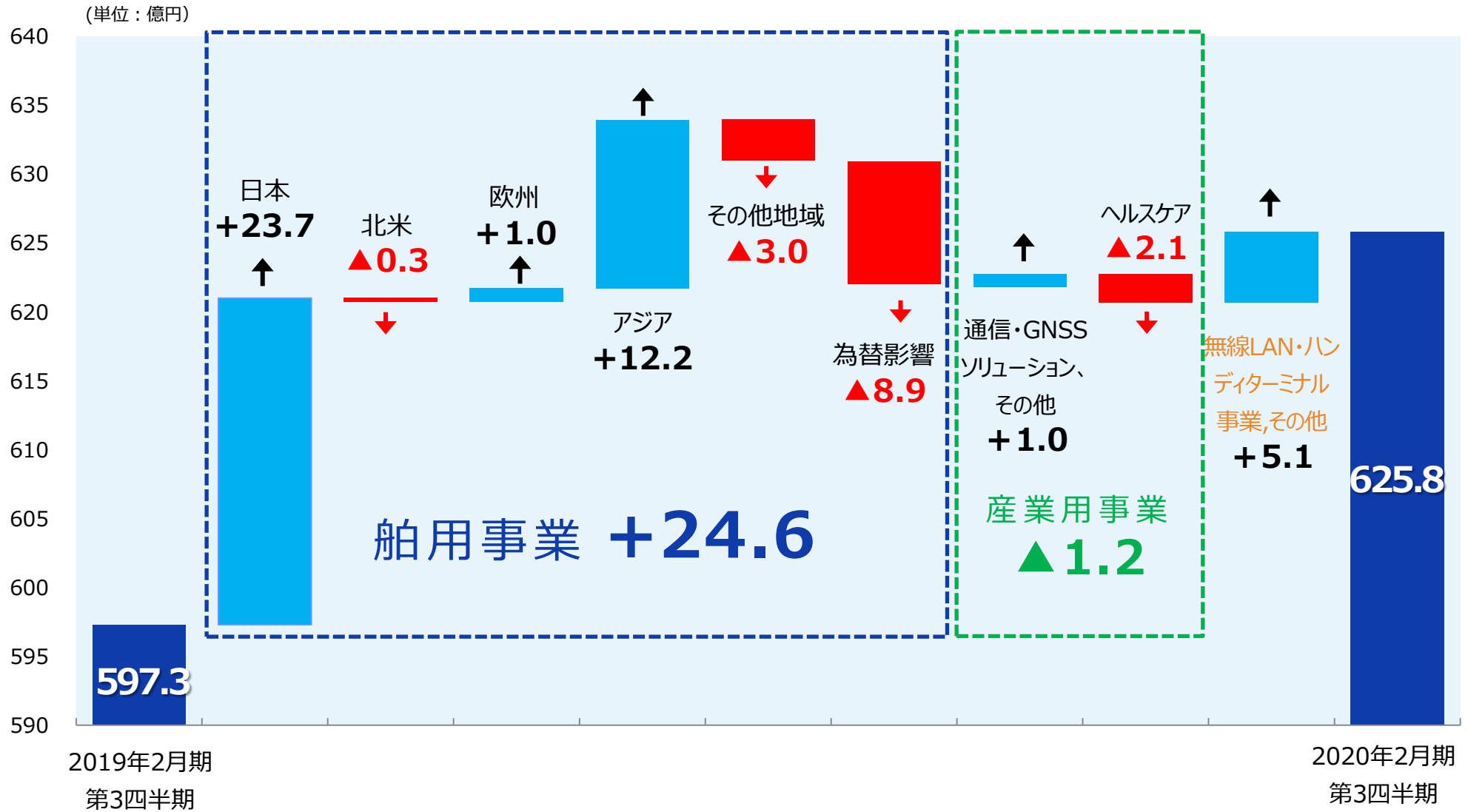
- 舶用事業における日本・アジア地域の商船新造船向け売上が伸長。
- 無線LAN・ハンディターミナル事業における文教向け無線LANアクセスポイントの販売好調により増収。

◆ 利益：減益

- 製品構成の変化、為替影響、生産調整等により売上総利益率が低下し、減益。

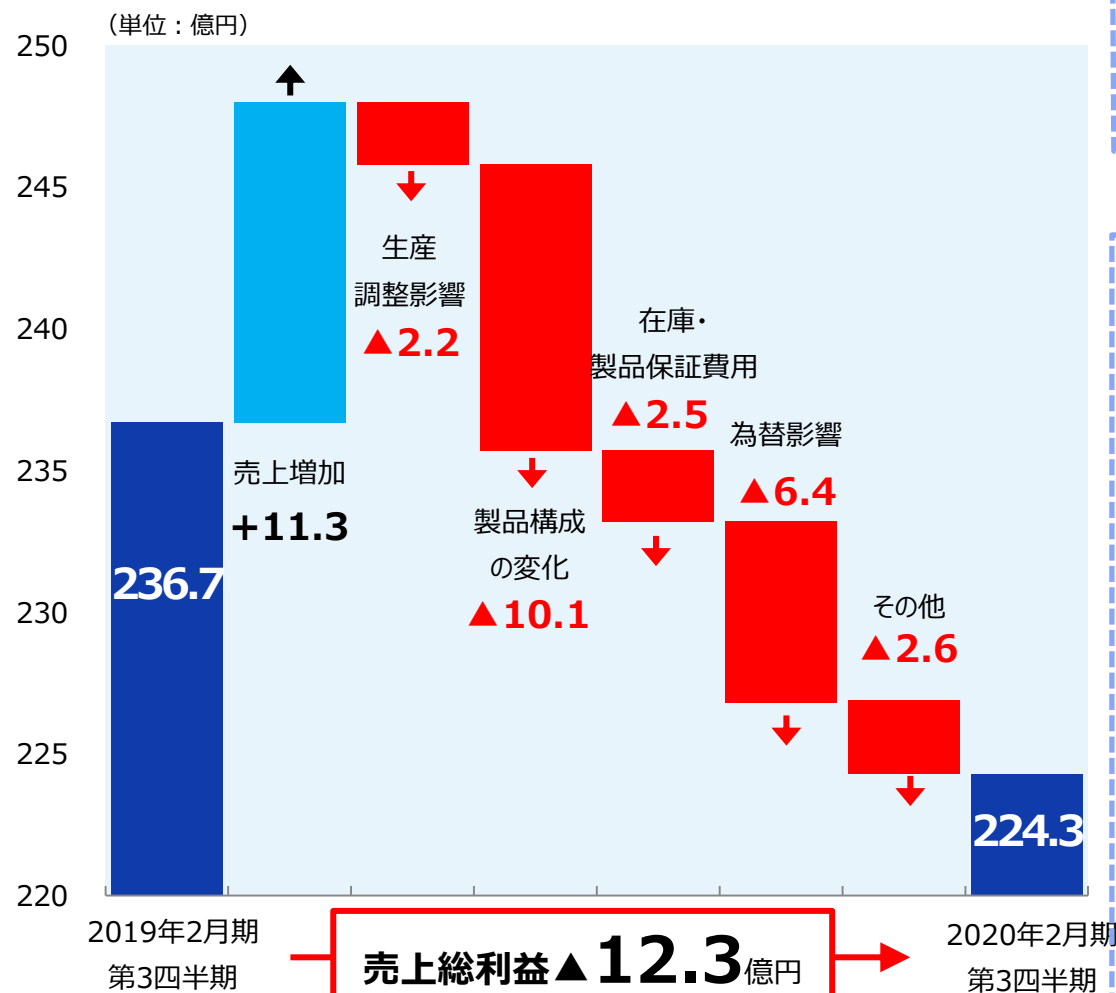
(単位：百万円)	2019年2月期 第3四半期	2020年2月期 第3四半期	増減比（額）	増減比（率）
売上高	59,729	62,582	+2,853	+4.8%
売上総利益	23,666	22,434	▲1,232	▲5.2%
(対売上高比率)	(39.6%)	(35.8%)	(▲3.8)	
営業利益	3,876	2,928	▲948	▲24.5%
(対売上高比率)	(6.5%)	(4.7%)	(▲1.8)	
経常利益	4,186	3,062	▲1,124	▲26.9%
(対売上高比率)	(7.0%)	(4.9%)	(▲2.1)	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,329	2,576	▲753	▲22.6%
(対売上高比率)	(5.6%)	(4.1%)	(▲1.5)	
研究開発費	3,373	3,176	▲197	▲5.8%
(対売上高比率)	(5.6%)	(5.1%)	(▲0.5)	
設備投資額	1,856	2,241	+385	+20.7%
(対売上高比率)	(3.1%)	(3.6%)	(+0.5)	
減価償却費	2,295	2,358	+63	+2.7%
(対売上高比率)	(3.8%)	(3.8%)	(±0.0)	
(単位：円、期中平均レート)				
為替（対ドル）	110	110	—	—
為替（対ユーロ）	131	123	▲8	▲6.3%

売上高の増減分析

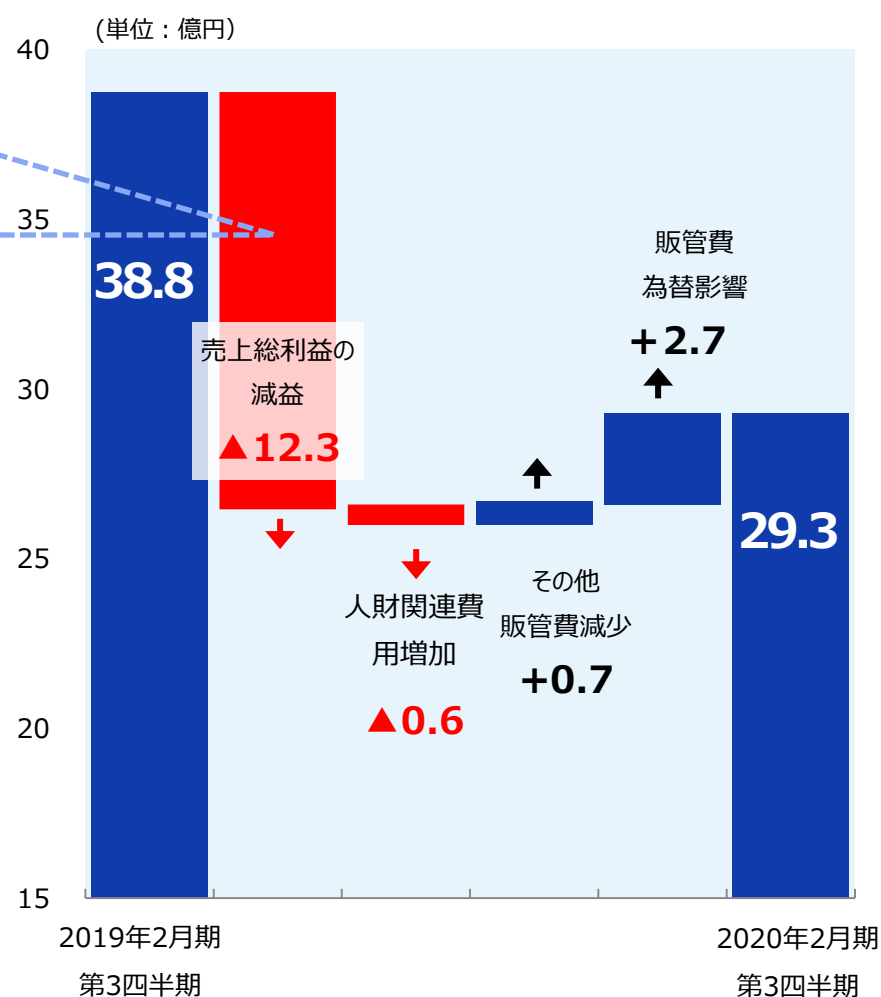


※ 為替感応度 (2019年2月期実績値)
 【ドル】売上高1.2億円、営業利益0.5億円
 【ユーロ】売上高1.4億円、営業利益0.6億円

売上総利益の増減分析



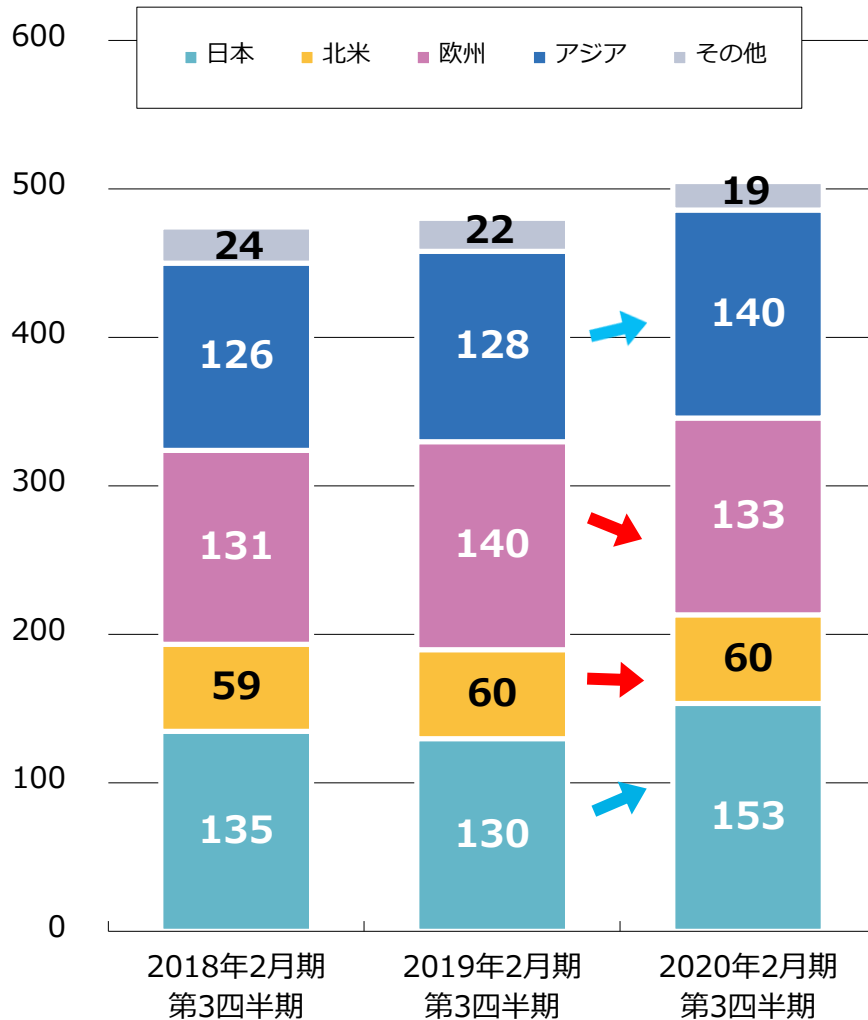
営業利益の増減分析



※営業利益に対する為替影響▲3.7億円

船用事業・連結売上高 (累計・地域別)

(単位：億円)



船用事業：

売上高 **505**億円 (前年同期比 + **5.1%**)

セグメント利益 **18.8**億円 (▲**10.8**億円)

⇒ **日本・アジアで増収**

⇒ **製品構成の変化、為替、生産調整等の影響により減益**

◆ **日本**：売上高 **153**億円 (+**18.3%**)

▶ 商船新造船向けが増収

◆ **北米**：売上高 **60**億円 (▲**0.4%**)

▶ 前年同期並みで推移

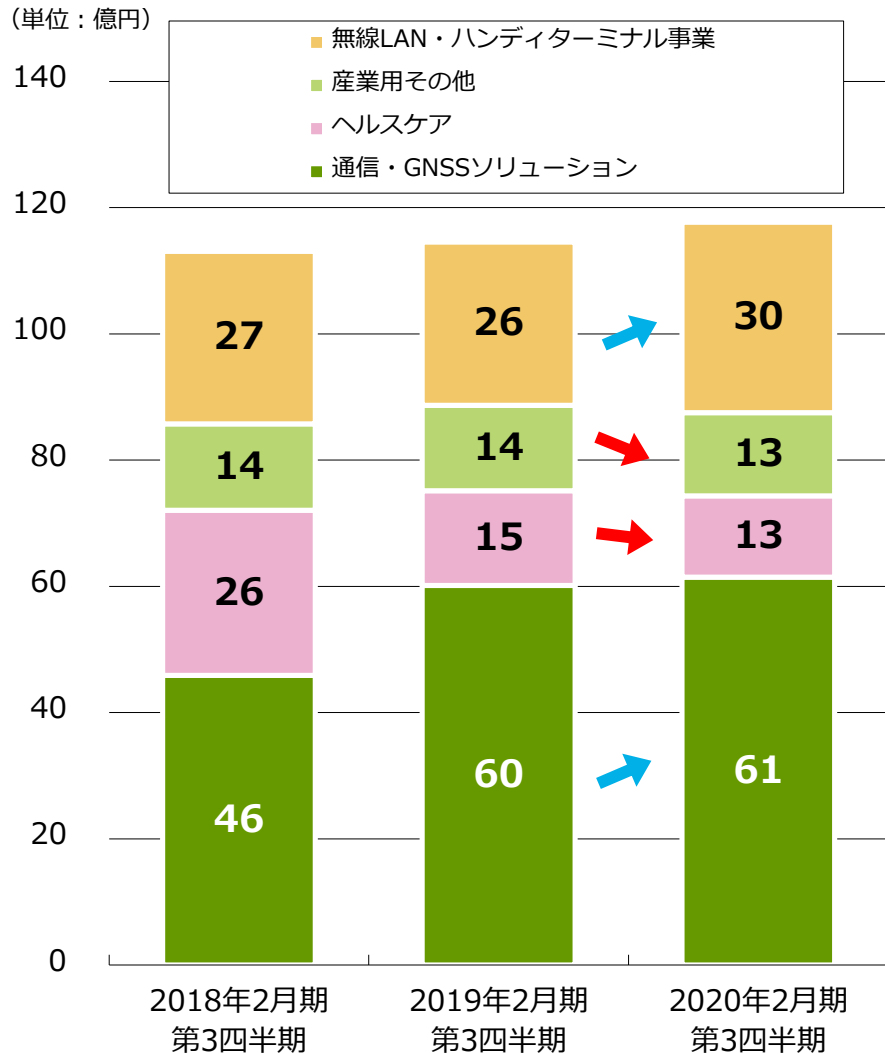
◆ **欧州**：売上高 **133**億円 (▲**5.3%**)

▶ 為替影響 (▲8.4億円) により減収

◆ **アジア**：売上高 **140**億円 (+**9.0%**)

▶ 商船新造船向けが増収

産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業 連結売上高（累計・製品群別）



産業用事業：

売上高 **87.5**億円（前年同期比 **▲1.3%**）

セグメント利益 **3.5**億円（**▲1.3**億円）

⇒ **通信・GNSSソリューション事業は**
受託事業の売上微減もETC車載器が増収

⇒ **ヘルスケア事業は自社機伸びず減収**

⇒ **製品構成変化、在庫関連費用増により減益**

◆通信・GNSSソリューション事業：

売上高 **61.4**億円（**+2.2%**）

◆ヘルスケア事業：売上高 **12.9**億円（**▲14.1%**）

無線LAN・ハンディターミナル事業：

売上高 **30.1**億円（前年同期比 **+16.8%**）

セグメント利益 **6.1**億円（**+2.1**億円）

⇒ **無線LANアクセスポイントの販売好調につき増収増益**

前回予想 (2019年4月15日発表) 今回予想 (2020年1月14日発表)

(単位：百万円)	2019年2月期 実績	2020年2月期 予想	2020年2月期 予想	増減比 (額)	増減比 (率)
売上高	82,108	82,000	82,000	±0	±0.0%
営業利益	4,771	4,000	2,500	▲1,500	▲37.5%
(対売上高比率)	(5.8%)	(4.9%)	(3.0%)	(▲1.9)	
経常利益	5,112	4,000	3,000	▲1,000	▲25.0%
(対売上高比率)	(6.2%)	(4.9%)	(3.6%)	(▲1.3)	
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,026	3,000	2,500	▲500	▲16.6%
(対売上高比率)	(4.9%)	(3.7%)	(3.0%)	(▲0.7)	

製品構成の変化及び在庫削減を目的とした生産調整の実施等により
売上総利益率が低下し、利益が当初予想を下回る見込み。

トピックス

新型の航海用レーダー／チャートレーダー「FAR-2x28-NXT／FAR-3x20-NXT」を開発

固体化（半導体）素子を採用した、Xバンドの航海用レーダー「型式：FAR-2x28-NXT」とチャートレーダー「型式：FAR-3x20-NXT」を新たに開発しました。

両商品とも電波発信部に固体化素子を採用。従来のようにマグネトロンを定期交換する必要がなく、安定して高い耐久性とメンテナンス性を実現。また、従来に比べ消費電力が13%抑えられる上に、定期交換による廃棄物も抑制でき、環境負荷の低減にも貢献します。

さらに、低消費電力でありながら、マグネトロンを採用したレーダーに比べてクリアな映像を実現し、信頼性の高い探知性能で安全航行に寄与します。

今回の開発により、周波数帯域が異なるXバンドとSバンドに固体化素子を採用したモデルを取り揃えたことになり、当社はマグネトロンの定期交換を必要としないマグネトロンフリー船を提唱することができます。本商品は、「FAR-2xx8／3000シリーズ」の固体化レーダー“NXT”の追加モデルとして、2020年夏より発売予定です。

- (※1) 国際海事機関
- (※2) 国際電気標準会議



▲「FAR-2xx8／3000」シリーズの表示部・操作部と固体化素子を採用したXバンドアンテナ

無線LANアクセスポイントの新商品「ACERA 1210」を開発

当社子会社である株式会社フルノシステムズは、2.4GHz、5GHz（W52/53）、5GHz（W56）の合計3波同時使用を実現した3RF^(※1)（スリーアールエフ）対応 無線LANアクセスポイント「ACERA 1210」を開発しました。

今回開発した「ACERA 1210」は、主に学校においてICT機器を用いた授業での活用を想定した無線LANアクセスポイントで、2.4GHz帯無線機1台、5GHz帯無線機2台を搭載し、同時使用できる仕様となっています。

これにより通信容量が拡大し、同時接続できる端末台数が最大で381台^(※2)、従来機と比べて50%増えました。

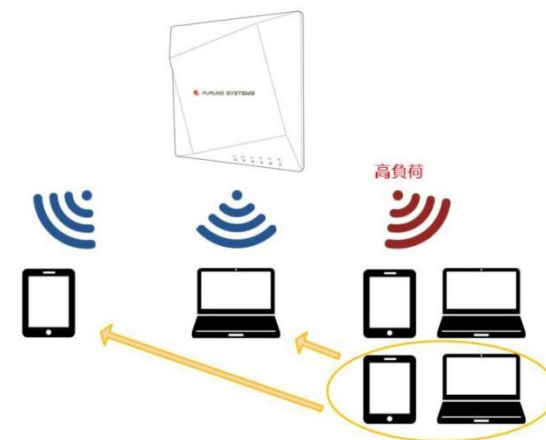
混雑していない周波数帯に自動で接続を切り替えるバンドステアリング機能（接続分散機能）を備え、また、無線LANの新セキュリティ規格WPA3に対応しており、大講義室や図書室など大人数が無線ネットワークに接続する環境下でも、安心・安定して快適な無線通信を実現します。

(※1) 3RF（スリーアールエフ）とは、3つの周波数（RF：Radio Frequency）、つまり3種類の無線LANを同時に利用できる仕様を意味します。

(※2) 設計値であり実用的な通信帯域を保証するものではありません。



▲3RF対応 無線LANアクセスポイント「ACERA 1210」



▲バンドステアリング機能のイメージ

自律航行システム開発部を新設

2025年から本格化する自動運航船の実用化に向けて、自律航行向けセンサ、航海計器システムの製品化を早期に実現するため、2020年1月開発設計統括部内に船の自律航行に関するシステムの研究および開発を担当する「自律航行システム開発部」を新設しました。

当社は、船用電子機器のグローバルトップメーカーとして、来るべき自動運航船の分野においても「安全安心・快適、人と環境に優しい航海の実現」に引き続き貢献してまいります。

テレビ東京系列「知られざるガリバー」にて、当社が紹介されました

2019年11月23日（土）に、テレビ東京系列で放送中の「知られざるガリバー～エクセレントカンパニーファイル～」において当社が紹介されました。

同番組は、“日本に自信と活力を与えたい”という思いから、世界に誇れる優れた日本企業にスポットを当て、その企業の魅力を紹介するドキュメンタリー番組です。番組を通じて多くの方に認知いただける機会となりました。

※ご覧になりたい方は以下をご利用ください

テレビ東京ビジネスオンデマンド https://txbiz.tv-tokyo.co.jp/gulliver/vod/post_191108/



▲ARナビゲーションシステムの取材の様子

補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2019年2月28日現在



社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年(昭和26年)
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
従業員(連結)	2,957 名
売上高(連結)	82,108 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部

I R 情報サイト⇒ <https://www.furuno.co.jp/ir/>

製品情報サイト⇒ <https://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト⇒ <https://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心・快適、 人と環境に優しい社会・航海の実現

